

ターゲット・バードゴルフ

場所	人数	対象年齢	運動強度
屋外	1組4人	誰でも可	中度

特色

バドミントンのシャトルとゴルフボールを合体させたようなプラスチック樹脂製の制動翼付きゴルフボールを、ゴルフのピッチングウエッジでフルスイングで打つことができ、ゴルフ気分を味わうことができます。ルールが簡単で初心者でもすぐできます。チーム対抗はもとより1人でもプレイを楽しめます。

用具

<クラブ>

P. PWまたは10番の表示があるゴルフクラブ

<羽根つきボール>

全長105mm、ボールの直径約40mm、羽根の直径約65mm、重量30g以下

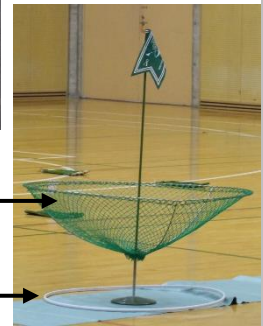
<スイングマット>

ゴルフ用人工芝で毛足の長さ2cm以下

<パラソル型ネットホール>



アドバンテージホール

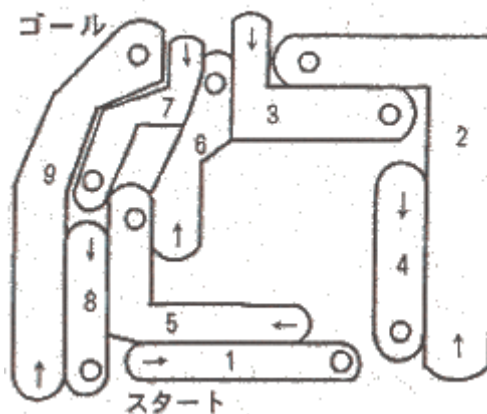


セカンドホール

コース

コースのホール数は9ホール以上とし、ショート(パー2)・ミドル(パー3)・ロング(パー4)の長短のコースがあり、ハーフのパーは27または36とし、ショート2、ミドル5、ロング2のコースとする。

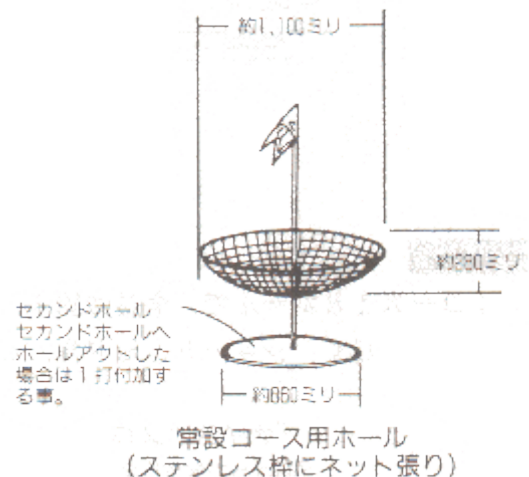
コース設定図(例)



ターゲット・バードゴルフ

競技方法

- (1) スタートのティーショットは、ジャンケン等で順番を決める。
- (2) インプレイのとき、ホールから最も遠いボールを先にプレイする。
- (3) 2ホール目以降のティーショットの順番は、前のホールで最も少ないスコアのプレイヤーからプレイし、以下順番にプレイする。
- (4) ボールを打つ意思でクラブを振れば、空振りでも1ストロークと数える。1ストローク中に、2回以上ボールに当たったときは、2打として数える。
- (5) ボールの球状部分が、ホールの内側に停止したときホールインという。アドバンテージホールにホールインの場合は打ったショット数、セカンドホールの場合は打ったショット数+1打で計算する。
- (6) アウト・オブ・バウンズ
 - 1 ボールの球状部分が OB の境界線に少しでもかかっていたらセーフ。
 - 2 ボールが OB となった場合は、1打付加して、そのボールを最後にプレイした地点にできるだけ近い境界線内から、次のストロークを行う。
- (7) 勝敗の決め方
 - 1 マッチプレイは、各ホールごとにストローク数によって勝敗を決める。
 - 2 ストロークプレイは、正規のラウンドを正しい順序でプレイし、最小打数でプレイした者が勝者となる。



参考：富山県ターゲットゴルフ協会